図書館だより

2026年11月

市川市立第三中学校図書館

立冬（11月7日）に吹く冷たい強風を「木枯らし」といいます。天気予報で「木枯らし1号」という言葉をよく耳にしますが、これは10月半ばから11月末に最大風速が毎秒8メートル以上で吹く風のことをいいます。

寒さ対策をしっかりして来る冬に備えておきましょう。

☆お知らせ☆

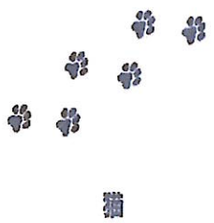
・図書委員会では、今年度いらした教職員の『おすすめの本』を職員室前に掲示します。ご覧ください。

・『夏休み特別貸出しの本』を返していない生徒は、至急、返却しましょう。

・読書週間期間中（10/27～11/9）本を借りた生徒にしおりを配ります。ぜひ、図書館に来てください。

今月の主人公　吾輩は猫である　夏目漱石

クールでニヒルな猫、それがこの作品の主人公です。珍野苦沙弥先生に拾われた野良猫で、名前はありません。ペルシャ系の猫のようです。珍野一家や、そこに集う人々をのぞき見る猫の視点を通して、当時の社会が風刺的にこっけいに語られていきます。まるで、障子の影からこっそりのぞき見ているような、そんな感覚です。また、猫のモデルは夏目家で飼われていた猫だといわれています。本作同様、名前もなかったようです。



四季のこよみ　小春日和（こはるびより）

11月から12月初めの、寒さの合間に訪れるポカポカと春のように暖かな陽気のことを、小春日和といいます。「小春」とは旧暦の10月（今の11月）を指す言葉です。ですから本当の春に、この言葉は使いません。

新刊本の紹介　（trc HP参照）

咲良は上手に説明したい!　滝沢 志郎著

混乱する横浜駅で、乗客対応に追われるアルバイト駅員の石川咲良の前に一人の女性、浅倉響が現れる。浅倉のわかりやすい説明で乗客が納得する姿に衝撃を受けた咲良は、浅倉と同じテクニカルライターを目指し…。お仕事小説。

やりたいことが見つかる世界の果てのカフェ
ジョン・ストレルキー著
鹿田 昌美訳

そのメニューには“人生を変える質問”が書かれていた-。不思議なカフェに迷い込んだ主人公・ジョンが、ある3つの質問や、カフェの店員との会話によって、「今、自分は何をやるべきか?」を見つけていく、小さな物語。

杉山亮の鉛筆ゲーム大全集
すぐ誰でも誰とでも遊べる
杉山 亮著

紙と鉛筆だけで遊べるゲームを多数収録。ルールだけでなく、実戦のようすを実況中継風に紹介。雨の日の休み時間や、ちょっとしたすきま時間にすぐ遊べる。『たのしい授業』連載を書籍化。

入荷の本・入荷予定の本

・きみの悩みに答える-10歳からの-哲学の言葉160　・今夜はなんの魚かな?
・るるぶ京都　'27　・その本、発禁処分トスル　・探偵小石は恋しない
・気になるあの子（10分後にココロに効くアオハルショートストーリーズ）
・京都北山館の魔女たち　・朝焼けキッチンカー　・うつくしい!　・夜想い
・ぼくたちはChatGPTをどう使うか　14歳から考えるAI時代の学び
・ヘルマン・ヘッセがカレーライスを食べる話、ありますか　・ふじさん　など。